

大丈夫ですか・・・メタボリックシンドローム



運動不足や食べすぎなど身体に負担がかかる習慣が影響して発症する「生活習慣病」の増加が問題になっています。

生活習慣病の代表ともいえる「高血圧」や「高脂血症」、「糖尿病」などの発症・悪化には、「腸のまわり、または腹腔内の内臓脂肪蓄積」が強く影響しています。

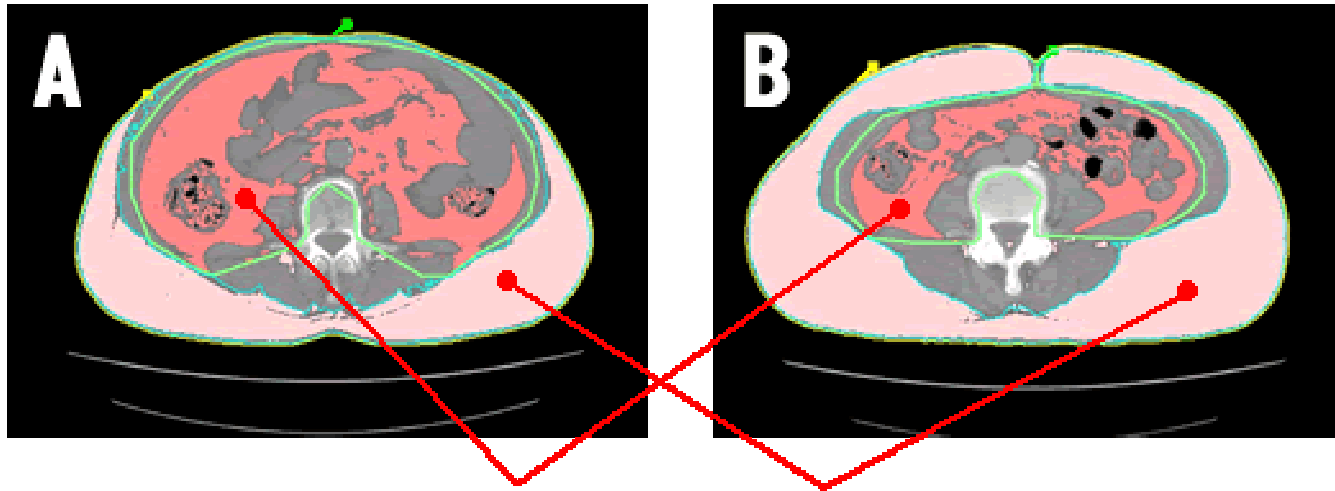
内臓脂肪が過剰に溜っていると、これらの生活習慣病になる可能性が高くなり、いくつかのものを併発する可能性もあります。

しかも、仮にそれぞれの病気の程度が“軽症”だったり、まだ病気とは診断されない“予備群”だとしても、動脈硬化が急速に進むことがわかっています。

このような状態を、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）といいます。

内臓脂肪の量は腹囲でおおよその推定が可能で、男性で 85cm 以上、女性で 90cm 以上では内臓脂肪量が多いとされています。

しかし、CT スキャンを用いて腹部の断面像を撮影しないと正確には判断できません。



内臓脂肪 皮下脂肪

上記 A と B の写真は別人ですが、内臓脂肪の量が異なるのが判ります。

実はこの 2 人の腹囲はほぼ同じです。

つまり、おなか周りだけでは残念ながら内臓脂肪の量が正確にはわからないのです。

検査は 5 分ほどで終わります。ご希望の方は職員にお声かけ下さい

検査料金 組合員 3 0 0 0 円

非組合員 5 0 0 0 円 **です**